

参加
無料

第10回北海道インバウンドフォーラム インバウンドの現状と新しい可能性を探る



暑寒別天売焼尻国定公園
雨竜沼湿原

開催日時

2025年

9月19日（金）

14:00 ～ 16:10

開催場所

国際ホール

札幌市中央区北4条西4丁目1番地
札幌国際ビル8階

参加無料

Web サイトの申込みフォームから
お申込みください。

<https://inbound-jp.info/forum/>

北海道インバウンド・インフォ

検索

共催

国土交通省北海道運輸局
一般財団法人北海道開発協会

後援

国土交通省北海道開発局
北海道
公益社団法人北海道観光機構

現在、インバウンド市場は好調です。特に2024年以降、訪日インバウンド客数はコロナ前の水準を上回り、観光業界にとって再活性化の重要な局面を迎えています。一方で、北海道においては訪問地域の偏りやオーバーツーリズム、地域の受け入れ体制の課題、旅行者ニーズの多様化など、持続可能な観光を実現するためには新たな視点と取り組みが求められています。

本フォーラムでは、インバウンド観光の現状を多角的に考察し、持続可能かつ地域の魅力を最大限に引き出す新しい観光の可能性について、地域主体の体験型観光や交流型観光を活用した観光戦略、多文化共生の視点など、これからのインバウンド観光に求められる方向性について考えることを目的として開催します。

～基調講演～

●観光の量から質への転換は可能か？

～選ばれる観光地から、観光客を選ぶ観光地への転換～

（一社）小豆島観光協会 事務局長 …… 塩出 慎吾氏

●外国人から見た地域のインバウンド対応について

～日常の感動を新たな価値に～

Hibi Japan 代表 …… アーネスト・モク氏

●美味しい一皿がまちを変える

～地域のレストランとオーベルジュ～

（株）えんれいしゃ

全国誌「北海道生活」編集長 …… 八木 由起子氏

PROFILE



塩出 慎吾 氏 ● (一社)小豆島観光協会 事務局長

広島県福山市出身。

東京大学経済学部卒。(株)リクルートでじゃらんnet編集長などを務める。退職後、ニュージーランドに移住し、永住権を取得。その後、シンガポールに移住し、インバウンド向けウェブサイトを構築。瀬戸内国際芸術祭をきっかけに2018年小豆島に移住。2020年4月より現職。



アーネスト・モク 氏 ● Hibi Japan 代表

香港出身。

立命館大学卒。広告代理店のイベント企画職を経て、2021年に阿寒湖地域おこし協力隊に着任し、アドベンチャートラベルをはじめとする地域密着型観光振興を行う。

2024年「Hibi Japan」を立ち上げ、外国人観光客向けの完全オーダーメイドの旅や観光コンテンツの造成と提案を提供している。



八木 由起子 氏 ● (株)えんれいしゃ

全国誌「北海道生活」編集長

石川県金沢市出身。

同志社大学文学部社会学科新聞学専攻（現・社会学部メディア学科）卒業後、(株)新潮社に15年勤務。

北海道に移住後、2008年に札幌のタウン情報誌「poroco（ポロコ）」編集長、同年8月には全国誌「北海道生活」編集長を兼務（2014年より専任）。北海道観光審議会などの公職にも就き、北海道や市町村との協力にかかわる。

参加申込方法

申込期限

2025年9月11日（木）

Webサイトの下記ページにアクセスし、専用申し込みフォームからお願いいたします。
（右の二次元コードからもアクセスできます。）

<https://inbound-jp.info/forum/>

申込・問合せ先

(一財)北海道開発協会 開発調査総合研究所

TEL:011-709-5213 E-mail: inbound-info@hkk.or.jp

